

公表：2024年 3月 18日 事業所名：「ゼノ」こぼと園 職員数25人 回収数24人 割合96%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	19	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容によってどの部屋を使うか調整している。</li> <li>・動く活動は、部屋の広さを利用して考える。</li> <li>・教材が刺激にならないよう、配置に気を付けている。</li> <li>・かたづけを心がけるなど、環境の整理をする。</li> </ul>	<p>○建物基準などは法令を遵守しているが、築43年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため、複雑な建物構造になっている。死角もあり、見通しの持ちにくい建物構造なので、安全性に気を付け、できる限り、子どもにとって見通しが持ちやすいように手掛かりや働きかけを行い、整理され、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努める（2020年春、門扉を作ってスペースを分かりやすくした）。</p> <p>○部門（難聴・発達・相談）や療育形態（集団療育・個別療育・親子通園・毎日・併行など）、年齢（0歳～就学前）や状態、療育内容などが複雑なので、職員同士事前の打ち合わせをし、訓練室や検査室等の使用を調整している。</p> <p>○職員の配置基準は大きく上回っているが、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要である。現在の社会状況（就労、家族やきょうだいの状況等）をふまえて、親子通園が難しい時は単独通園も受け入れる体制を整えて、療育を保障している。また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしているが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題である。</p> <p>職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場などに挙げていく必要がある。</p> <p>○危険箇所に気づいたらすぐに対応し、清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。</p> <p>○施設の老朽化のため、新園舎整備に向けて計画をすすめている。増加し多様化している地域のニーズに応えられる施設整備を目指している。</p>
	②	職員の配置数は適切である。	18	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準は満たしているが、子どもの状態を考えると足りてないと感じる。</li> <li>・足りないところには、園内で調整して職員配置をしている。</li> <li>・体調不良等があると職員体制を苦勞する時もある。</li> <li>・単独通園が増えており現在の配置数で職員に負荷が掛かり過ぎてははいないか心配。</li> <li>・集団療育時に単独児が多い場合は、職員の応援を要請している。</li> <li>・昼の保育の時間にどうしても人手不足になりがちだが、全体として不足はしていない。仕事の配分や動き方、ICTによる合理化など、人を増やすこと以外にできることはあるはず。</li> </ul>	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	8	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難聴児や発達課題のある子どもなど、色んな子が通っており、通園の頻度も様々で、全ての子に合わせた環境作りが難しいところがある。</li> <li>・建物の造りが古いため、階段や死角が多く、身体障害のある方にとっては移動が不便。</li> <li>・施設の中の死角が多い。バリアフリー化は十分にはされていない。</li> <li>・子供にとって見通しの持ちにくい部屋になっているなど、大変分かりにくい空間であり、早く施設整備を実現したい。</li> <li>・床が滑りやすい。</li> <li>・正面玄関門扉の施錠・階段移動など、子どもの状態によっては保護者の対応の難しさがあるため、必要に応じて職員が手伝うようにしている。</li> </ul>	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	16	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや煩雑で、死角になる場所が多い。</li> <li>・死角となる場所があるため、集団療育でマンツーマンで職員が対応しないといけなくなると、人手が足りなくなる。</li> <li>・床が滑りやすい。大人はシューズを履くなどで対応している。</li> </ul>	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	22	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での話し合いなどを意識的に行っている。</li> <li>・気がついた事を、朝会や終礼で確認して情報共有している。</li> </ul>	<p>○職員会議等の場で全体の状況把握や意見の集約を図る。</p> <p>○引き続き、保護者との共通理解に努めながら、職員全体での共通理解、認識を図り、具体的な業務改善に向けて努力する。</p> <p>○保護者評価、事業所の自己評価に基づき、今後の改善に生かしていく。</p> <p>○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。コロナ禍以降、オンライン研修が増えているが、コロナが5類に移行後、対面での外部研修も復活するなど、研修の受け方が多様化してきている。今後も、必要な研修、今の職員の働き方にあった研修の在り方を検討し、実施していきたい。</p>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	23	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会からの意見を積極的に聞き、改善に役立っている。</li> <li>・行事を実施することに感想をだしてもらい、改善に繋げている。</li> </ul>	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	22	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	15	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しているかどうかよく分からない。</li> </ul>	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その時々に必要なテーマについて、園内で研修を行っている。</li> </ul>	

適切な支援の提供

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	24	0		
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	20	4	・定期的な発達検査の実施。 ・保護者と話をする機会が多いので、丁寧に確認していくよう心がけている。	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	24	0		
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	24	0		
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	23	1	・事前事後の話し合い、打ち合わせを行うようにしている。 ・話し合いの時間がじっくり取れてない。 ・時間的に保障がむずかしい中、要点を確認はできるが経験年数の浅い職員には十分理解できない状況も考えられる。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	22	2	・会議を通して意見を出しあうことで固定化しないようにしている。 ・四季折々の活動を大事にしている。 ・やや固定化しやすい。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	24	0		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	24	0	・配慮のいる子や、予測される行動について確認を行う。 ・時間が取れない時があるが、極力取るように努力をしている。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	21	3	・必ずではないが、できる限りは振り返りを行なっている。 ・時間の使い方などまだ課題が多い。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	24	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	23	1		

○「ゼノ」こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。

①親子通園で、障害や発達の状態に合わせ、集団療育と個別療育を行う。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。

難聴児に対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装用・調整・聴覚活用をすすめ、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力が育つように取り組んでいる。（発達支援）

②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。（家族支援）

③関係機関との連携を行う。特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。（地域支援・保育所等訪問支援）

○子どもに合わせた適切な支援を行うために努力をしているが、部門の増加、ニーズの多様化による職員の役割の多重化、複雑化などのため、職員は手いっぱいの状況である。職員全体で業務改善にとり組み、よりよい支援に結びつける努力が必要である。

○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせて適切に行われていると思われるが、やや経験主義に陥る、目的や意図があいまいになる、保護者と子どもの捉え方や取り組みの共有が図りにくいこともみられ、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める必要がある。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	24	0		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	24	0	・行っているが頻度は少ない。時間の調整がしにくい。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関（母子保健、ネウボウ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど）と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	23	1		○医療的ケア児に関しての関係機関との連携を強くするよう努め、主治医や協力医療機関との連絡体制を整備する。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている。	20	4	・耳鼻科とは連携しているが、小児科などとの連携は少ない。	○医療的ケアが必要でない子どもについても、必要に応じて医療機関との連携、情報共有に努める。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	24	0		○併行通園している保育所、幼稚園、こども園などとの連携支援を充実させる。そのために、日常的な電話や連絡帳での連携に加えて、保育所等訪問支援事業を行うこと、療育懇談会（年1回、グループごと、公開療育と懇談会）や研修会（療育研修会・聴覚障害研修会など）を開催することなどを通して、充実を図る。コロナは5類に移行しているが、今後も感染状況をふまえながら、計画、実施をしていく。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	24	0		○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	24	0	・今年度は、他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所と連携をとり、職員間で実習を兼ねた研修を行った。	○この地域の中で、他の児童発達支援センター・児童発達支援事業所・関係機関・行政等との連携や研修の場も通して、専門性と人間性を高めるように努める。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	18	0	・コロナ禍以後、交流が行えていない。	※利用されている園児数が多いので、計画性をもって行うように努める。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	16	8		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	24	0	・毎回療育後に懇談の時間をとっている。	○保護者への支援は、保護者との信頼関係を築くことを大切にしながら、親子通園、保護者懇談会、連絡帳の交換などの日常的な支援と、年数回の保護者教室や学習会などの学びの場を設け行っていく。そのために、職員の研修や事例検討を行い、より質の高い支援を行っていきけるよう努力する。
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	22	2		
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	23	1		
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	24	0		○年度初めのガイダンスや入園前の説明会で、運営規定や利用者負担について管理職から説明している。現場の職員にも運営規定や利用者負担について説明する機会を設けるよう努める。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	24	0		○契約や、児童発達支援計画などの説明や同意に関して、児童発達支援ガイドラインで使われていることばに慣れておらず、理解されにくい面がある。できるだけその用語を使うように努力している。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	23	1	・保護者会、体験談の講演会、保護者学習会	○保護者とは、直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図るようにしている。今年度から、緊急連絡はメール配信サービス「チェックインシステム」のメールで一斉送信で行っている。保護者が閲覧したかどうか分かるシステムになっており、連絡漏れのないように努めている。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	24	0		○こぼと会（こぼと園保護者会）、療育を守る親の会などへの協力と連携を深める。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	24	0		○保護者の意見をしっかりと受け止め、あわせて今回の事業所評価、自己評価をもとに、園のあり方や支援のあり方を見直し、よりよいものになるように努めていく。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している。	23	1	・ケースファイルの保管等に不十分さがある。	○日常的な保護者への説明や相談に関して、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、あたたかく専門性を持った支援を行っていきけるように努める。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	24	0		

④	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図ってい る。	17	7	・コロナ感染対策などのため、以前のように実施できて いない。
---	---	----	---	-----------------------------------

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	24	0		<p>○想定される緊急時等のマニュアルを漏れがないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するよう努める。</p> <p>○毎月の避難訓練と建物の安全管理は行っているが、毎日通園ではない子どもが多い中、避難訓練を可能な限りすべての子どもが経験できるように計画を立てていく。</p> <p>○地震、津波を想定した避難訓練について、職員は災害時の状況を想定した訓練を行っているが、今後、園児や保護者も含めた地震や洪水、津波を想定した訓練を計画していく。不審者への対応訓練も、まずは職員が行っていく。</p> <p>○全国的に災害が多発している状況も踏まえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応（保護者との連絡や関係機関との連携）を図り、安全を守るよう努める。</p> <p>○ヒヤリハット、身体拘束についての事例が生じた時には、日々の終礼で報告し、継続して記録に残している。生じた事例（状況や対応のあり方等）を職員間で共有し、園児の安全と権利を守っていくことができるように努めていく。</p> <p>○虐待や身体拘束に関する研修を全職員で行い、日常に引き付けて考え、誰もが対処できるように取り組む。</p> <p>○虐待や権利擁護に関する研修に参加し、職員全体に周知している。今後も、年間で計画的に虐待や権利擁護、身体拘束等に関する研修参加に努め、人権意識や適切な関わりを職員全体で確認し、共有していく。</p>
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	24	0	・火災避難訓練以外の訓練も必要。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	24	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	24	0		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	24	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	24	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	23	1		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果  
(公表)

別紙 4

公表：2024年 3月18日

事業所名：「ゼノ」こぼと園

保護者数(児童数) 113 回収数 82 割合72%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	73	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外活動も含め、TPOに応じた環境の確保、配慮十分だと思います。</li> <li>・園庭でしっかり体を動かせるし室内の活動もできる。</li> <li>・外遊びが好きで、周りの友だちとうまく遊べているのでいいのかなと思います。</li> <li>・昨年より広く外が使えるようになり、しっかり体を動かすことができている。クッキングなどの際もスペースを分けることができていると思う。</li> <li>・室内での運動遊びの部屋、プール等小規模ですが、活動も少人数なので、少し狭く感じますが概ね問題無いと思いました。活動内容やその日の状態にもよるけれど、他のグループの子どもたちとトラブルになっていないから。</li> <li>・自転車で遊べるのは、危険やルールを学ぶ事ができるので、助かる。</li> <li>・自然がたくさんだけど、目移りしやすい時がある。</li> <li>・本人にとっては十分なスペースと思いますが、お友だちがフェンスを越えようとする姿があるため、そのケアは必要かと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基準以上の活動スペースは確保されています。室内での活動時には、活動の内容によって部屋の使い方を工夫し、園外では季節や自然を生かしたあそびを大切にしながら、子どもたちや保護者の方たちにとって、安心して分かりやすく活動できるような環境づくりに努めます。</li> <li>○フェンスの状況等、できる限り危険のない環境整備と、安心して過ごせるような職員配置と関わり、活動に努めます。</li> <li>○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。</li> </ul>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	59	15	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お忙しい中関わって頂きありがとうございます。足りているのかな?疑問になることもあります。先生方の専門性はいまいちわかっていないのですが、いろんな視点から意見もらえてありがたいです。</li> <li>・先生方にはいつも子ども達のことをよく見て頂けていて頭が上がりません。こどもの人数に対して先生方の人数も適正なんでしょうが、こどもの特性もあり、先生方個人個人の負担が大きすぎないかな?と思うことがあります。</li> <li>・不便は感じてないのですがもう1方いらっしやったら、. . . と思うことはたまにありました。</li> <li>・複数名の先生方が付いてくださり助かります。活動の説明が分かりにくかったり、よく分からない待ち時間があつたりすると感じます。</li> <li>・専門性はわからない。</li> <li>・配置基準は満たされているのだと思いますが、単独通園が多い日は少ないと感じる時もあります。</li> <li>・研修などの際に工夫して人員確保し療育して下さっているが、もう少し人数が多い方が先生たちの負担も少ないのでは。</li> <li>・少ないと思います。</li> <li>・もう少し配置数を増やしてほしい。</li> <li>・時々少ないな、職員の方に負担になっているのではと感じることがありました。</li> <li>・要望としては集団療育は10人以下で少人数の方が望ましい。</li> <li>・欲を言えば、先生を独占する子がいて、関わりに行きたくても行けない子がいるので、4人ぐらい先生にいてほしい。</li> <li>・お仕事を単独通園を日々利用する方が多くいらっしやるので、その子がグループから離れた場所で別行動すると、先生がその子に付き切りになる必要があるのでは、そういった時は先生の数が足りないと思うことがあります。</li> <li>・先日、集団療育で平家谷へ鯉のエサやりをしに行った。最前列と最後尾に職員がひとりずつついていて、途中脇道にそれて子どもが1人迷子になりかけた。保護者と一緒に行動しないといけないなと改めて思った。</li> <li>・相談したことが、親身に返ってこない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員配置は、基準を大きく上回っています。しかし、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要な状態です。子どもたちや保護者の方たちが安心して過ごせるよう、必要に応じて、引き続き人材の確保を行い、職員体制、保育体制づくりに努めます。</li> <li>○子どもの療育を保障するため、家族や就労の状況等で単独通園も保障していますが、そのことで全体の療育の質が低下しないよう、職員体制やとりくみのあり方を検討し、整えていくように努めます。</li> <li>○また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしていますが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題です。毎日、保育時の職員体制と配置を確認し、子どもたちと保護者の方たちが安心して過ごせるよう努めます。</li> <li>○職員の専門分野は様々ですが、どの職員も子どもを総合的に見て支援できるよう努めております。療育の中で、活動の見通しやねらい、具体的な動きなどをわかりやすく伝えていくこと、相談を受けたことに誠実に対応していくことも含めて、職員の専門性の向上に努めます。相談内容によって、担当以外の職員が対応することも可能ですので、ご相談ください。</li> </ul>

③	<p>生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。</p>	49	25	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お部屋にマークがあるのでわかりやすいです。</li> <li>・わかりやすい構造化でもバリアフリー化でもないけど、本人は迷路みたいで気に入っている。</li> <li>・毎日通園の部屋は固定化されているので、園全体の構造までは理解できていないとか意識していないように感じます。</li> <li>・週1回の教室なので、その時々で必要な用具を出して使用しています。先生が事前に準備を整えてくださった時は、子ども達も教室に入るとすぐ興味を持って活動に向かっていました。</li> <li>・施設の設備は階段でバリアフリー化とは程遠いです。ただ、室内は整理されていて、子どもが気が散りやすいものはなく、助かっています。</li> <li>・曜日によって場所や部屋が違い、子どもがまだ曜日感覚が育っていない為、今日ではどちらか不安なのか聞いてくる。統一出来れば良い。</li> <li>・例えば、各部屋の名称の絵カードはあるけど、加えて文字も一緒に書いてあると絵と文字が一致してイメージも繋がりがやすいし字を覚えることにも繋がりがやすいと思う。</li> <li>・その日の活動の視覚的支援をしっかりと提示できる移動式のホワイトボードがあると良いと思いました。</li> <li>・活動によって必要なものを準備、かたづけすることが多いので、特に本人に分かりやすいものではない。</li> <li>・建物が古いので部屋の配置がわかりにくい。</li> <li>・建物の構造も古く、子どもにはわかりにくい。</li> <li>・走り回る子もいる中で、部屋が十分な広さではないため、怪我をしやすい、運動遊びもハラハラするなど、心配がある。</li> <li>・部屋によっては外を通る人が見えたりするので、子どもの集中が途切れたり、注意がそれてしまうことがある。</li> <li>・部屋によっては、仕切りドアのレールが飛び出ている、子どもが踏く危険がある。大人のトイレは、狭く入りづらい。</li> <li>・車椅子の子どもさんのときは難しいのかなとったりします。</li> </ul>	<p>○建物基準などは基準を十分満たしていますが、築46年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため複雑な建物構造になっています。子どもの年齢や状態、療育形態も様々で、日替わりの部屋使用になります。</p> <p>子どもの状態や必要性によって、子どもたちにとって、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努めます。</p> <p>部屋の見通し、絵や文字などの視覚的手がかりの活用、活動に向けての見通しや準備等について、子どもの状態や課題にあわせての働きかけや支援のあり方を検討し、とりにくみます。</p> <p>○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現するよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解をお願いします。</p> <p>○危険が想定される場面や場所、子どもの行動は、定期的に職員全体で確認し、改善と対応に努めます。日々の通園の中で危険に感じる事があれば、引き続き遠慮なくご意見ください。</p>
④	<p>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。</p>	51	24	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも片付けに清掃、ありがとうございます。</li> <li>・先生方が掃除などして頂いているため、きれいで安全に遊べる状態です。</li> <li>・掃除もされていて管理が行き届いている。</li> <li>・お手洗いが男女一緒なので、男の子の小便の時は見やすいのですが、女の子でまだサポートがいる場合は関わりにくいように思ったりします。</li> <li>・工夫されて綺麗に保たれているが、施設が古い。</li> <li>・シンプルに片付けられて不衛生ではないです。手洗い場に床用モップ、机用の使い捨て布巾等の用意が可能であれば整えていただけたら嬉しい。色褪せた掲示物を取り外したり、カーテンをタッセルで留めたりすればよりすっきりすると感じました。</li> <li>・子供にとって心地よく過ごせる環境だが『清潔』は、欠けている。</li> <li>・建物が古く、老朽化を感じる。(4人)</li> <li>・水道の蛇口から変な音がしていた。子供が怖がっていたので修理して欲しい。</li> <li>・活動する部屋と手洗いの部屋の間のドアの滑りが悪く、子どもが手をつめそうで心配。</li> <li>・匂いがするトイレがある。(2人)</li> </ul> <p>掃除はされているが、古くて使うのを躊躇う。 ハンドソープ、アルコール布巾入れ(箱と使用済ゴミ袋)が不安定すぎるので、フックや台などを使って、何かしら工夫出来たら良いのかなと思う。 ・冬は寒そう。</p>	<p>○築46年経ち、老朽化が目立つ建物ですが、掃除や危険個所の把握と修繕に努め、極力清潔で安全な環境づくりに配慮します。</p> <p>○水道蛇口の修理、ハンドソープやアルコール布巾入れなどについては、対応が遅れましたが、行いました。寒さ対策、掲示物やカーテンの対応など、できることできるだけ速やかに対応させていただきますので、引き続きご意見をいただければと思います。</p>

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	77	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見から作成されていると思います。</li> <li>・現状の課題から先の目標までこどものことをよく見ていただけていると思います。</li> <li>・個別の特性を踏まえた発達支援計画をいただきました。</li> </ul>	<p>○「ゼロ」こぼと園では、お子さんと保護者の方と一緒に通ってきていただき、障がいや発達の状態に合わせ、集団療育と個別療育を行います。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように、「児童発達支援ガイドライン」に沿って次の内容で取り組んでいます。</p> <p>&lt;発達支援&gt;</p> <p>難聴のお子さんに対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装用・調整・聴覚活用をすすめる、またすべてのお子さんに対して、人と関わる力、遊ぶ力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことは・コミュニケーションの力を育てるように取り組んでいます。</p> <p>&lt;家族支援&gt;</p> <p>親子通園、保護者との懇談や学習の場などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいます。</p> <p>就労や家族、きょうだいの抱える状況や課題は複雑になってきています。家族全体を視野に入れて、少しでも安心して生活を送っていただけるように、園としての相談や関係機関との連携のあり方等についても、検討していきます。</p> <p>&lt;地域支援&gt;</p> <p>保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。</p> <p>○これらのガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てていますが、一人ひとりへのより丁寧な説明を心掛けて行くよう努めます。</p> <p>○支援内容については、概ね保護者のみなさんのご理解を得ていると思われませんが、さらに丁寧な説明とニーズの把握に努めると共に、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努めます。</p>
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	70	4	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の特性を踏まえた発達支援計画をいただきました。</li> <li>・家族支援がどこまでになるか難しい所。療育担当の先生に家庭の困り事をどこまで相談するか悩むし、先生方も本来の支援範囲を超えると大変。保護者に対するカウンセラーのような専門家がいてくれると嬉しい。</li> <li>・言われている意味がわからない。</li> <li>・もっとわかりやすく質問をしてほしい。</li> </ul>	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	71	4	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されているものもあると思うが、なかなか活動に実際は盛り込まれていないのかなあと思う項目もあると思う。</li> </ul>	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	70	4	2	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた様々な活動を設定してくださっており、楽しく参加させていただいています。</li> <li>・色々な活動を計画くださり、良い経験になっている。</li> <li>・我が子だけじゃない他の子の課題なんかも上手に取り入れてくださり、こちらの要望も聞いていただける。</li> <li>・すぐに対応してくださる。</li> </ul>	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	50	8	13	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園のクラスの子たちも我が子の特性を理解してくれています。我が子も安心して過ごしています。</li> <li>・併行通園先では、一緒に遊ぶことや、こぼとでの活動と同レベルの機会はほぼないです。</li> <li>・障害のない子との交流が必要なのか、どういった点で必要なのかなどの説明を受けたことがない。</li> <li>・コロナでそういう機会はなかったと思う。</li> </ul>	<p>○コロナが5類に移行後、併行通園先の各園との見学連携や支援等を行っています。</p> <p>○今後も、併行通園先と確認しながら、可能な連携や交流の在り方を探り、出来る限り実施していきたいと思ひます。</p>



保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	73	5	1	3	<p>○運営規定については、入園説明会でお伝えしています。継続の方には、入園式、あるいはそれに代わる新年度ガイダンスでご説明しております。年度途中の入園の方には、その都度お伝えしています。今後も感染状況等をふまえながら、できる限り、保護者の顔合わせや交流の機会を含めた、丁寧な説明の場を設けていきたいと思います。</p>
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	70	5	1	6	<p>○児童発達支援ガイドラインに沿った説明は実施できていません。ガイドラインに沿った支援内容になっていますが、今後はより丁寧に保護者の方に分かりやすい説明に努めるよう、方法を検討していきます。</p>
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。	59	11	2	10	<p>・我が子のこの行動はこんな意味もあるし、本人はこのようなも考えているなど教えて下さり、こういう声かけがいいと教えてくださいます。          ・子どもへの声掛けの方法や先生方や他のお母さん方から勉強させてもらっています。          ・活動の最後に保護者との懇談が設けられており、その日の活動について振り返りが行われています。          ・説明を受けても、意味がわからないことがある。</p>
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	72	9	1	0	<p>・共通に理解できている部分もあるけれど、先生の方が我が子のことがよく見えていて適切な対応をして頂いているような気がしている。          ・活動の最後に保護者との懇談が設けられていますが、時間が限られているので個人の話をする事は難しいです。          ・個別の時間ももう少しあればさらにいいと思う</p>
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	74	4	2	2	<p>・本人だけでなく、兄弟や親のことまで丁寧にケア頂き、ありがとうございます。          ・望めば対応して頂ける          ・個別で対応して頂いて、みっちりお話しして頂いてありがたい。          ・活動の最後に保護者との懇談が設けられていますが、個別の面談までは行われていません。          ・個人面談をして欲しい。なかなか自分からは聞きづらいし、療育の際に話す時間はあまりない。          ・定期的とは、どのくらいでしょうか。</p>

○運営規定については、入園説明会でお伝えしています。継続の方には、入園式、あるいはそれに代わる新年度ガイダンスでご説明しております。年度途中の入園の方には、その都度お伝えしています。今後も感染状況等をふまえながら、できる限り、保護者の顔合わせや交流の機会を含めた、丁寧な説明の場を設けていきたいと思います。

○児童発達支援ガイドラインに沿った説明は実施できていません。ガイドラインに沿った支援内容になっていますが、今後はより丁寧に保護者の方に分かりやすい説明に努めるよう、方法を検討していきます。

○保護者支援を大事に考え取り組んでいますが、プログラムとしてのトレーニング的な支援は行っていません。保護者の方にとっても、当園が安心でき心地の良い場になるよう、それぞれのペースで子どもへの関わりを学べるよう取り組んでいます。  
 ○年間を通して、保護者教室や学習会、保護者同士の交流などを実施しています。感染の状況等で例年通りに実施できないこともあります。広い会場の確保、オンラインでの実施等の工夫をしながら行っています。今後も感染対策に努めながら、できる限りの保護者支援や交流の機会を計画したいと思います。

○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を必ず持ち、活動の意味や子どもの様子、関わり等について話し合います。

懇談の際に、わかりにくいことなどがありましたら率直にお尋ねください。共に学びあい、専門性を高めていくことができるように、努めていきます。  
 ○共に考えあったり、共有したりすることを通して、保護者が、我が子を理解し子育てに元氣と見通しを持って、仲間と共に歩んでいけるように支援したいと考えています。  
 ○グループ療育中心の方は、個別での面談を定期的には計画できませんが、気にかかることや悩みなどは、グループでの懇談の中でも話題に出す、担当に声をかけるなどでお伝えください。できる限り、対応させていただきます。

○保護者とは、直接お話しする時間、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図っています。また、緊急時などの情報伝達は、メールでの一斉送信も行います。

保護者への説明等	⑮	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。</p>	55	11	2	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の最後に保護者懇談が設けられており、交流することができます。</li> <li>・コロナ期に比べたら機会が増えたように思います。</li> <li>・普段の療育もなかなか行けていないのに、保護者での集まりも多々あるのは苦痛。</li> </ul>	<p>○こぼと園の保護者会、広島県東部地域の通園施設の保護者会（療育を守る親の会）など、グループや各園を超えたつながりがあります。保護者の方には負担をおかけする面もありますが、主旨をご理解いただき、できる範囲でご協力いただけるとありがたいです。</p> <p>○全体行事や学習会でグループを超えた交流を計画していきます。</p> <p>○コロナは5類に移行しましたが、今後も可能な範囲で感染対策に努めながら、保護者の交流、連携を深めていけるよう計画していきます。</p> <p>○毎回の療育時間の後に、保護者の懇談を実施していますが、それ以上に交流の時間や学習の時間が必要という思いがあれば、気軽にご相談ください。必要に応じて、出来る範囲で企画していきたいと思っています。</p>
	⑯	<p>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。</p>	65	8	3	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも受け入れてくださる体制、都度相談の時間を取ってください、まわりに頼れる人も少なく本当に救われています。</li> <li>・先生方もお忙しいなかで即日に対応していただいて、この場が無かったらとくに親子共壊れていただろうと思う。</li> <li>・内容によって、参考文献の貸し出しや当事者、知見者とのコンタクトをとってもらえているので、助かっています。</li> <li>・小学校にあがる段階での放課後デイサービスの利用の際の支援がもう少し欲しいです。相談員の方がもう少しいるとありがたいと思う。</li> </ul>	<p>○日常の懇談の中では十分相談ができないこと、見通しが持ちにくいことなどについても、率直にお伝えください。できる範囲で対応させていただきます。</p> <p>○就学の段階での福祉サービス利用等については、「ゼノ」こぼと園相談支援事業所との連携も図っていきます。</p>
	⑰	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。</p>	70	5	3	4		<p>○親子での通園時には直接お話をさせて頂いたり、必要に応じて電話や連絡帳での連携、相談対応も行っております。</p> <p>○突発的な状況等については、メール配信システムのデータ送信でその都度お伝えしますので、ご確認をお願いします。</p>
	⑱	<p>定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。</p>	58	11	2	11		<p>○月の予定表や、行事や学習会の案内は、メール配信システムのデータ送信でお知らせしています。</p> <p>○社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や「こぼと園だより」を配布しています。</p> <p>○「ゼノ」少年牧場のホームページの中にこぼと園のホームページがあります。今後、ホームページ上での情報発信も検討していきます。</p>

非常時等の対応	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	62	7	2	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には気を付けてご対応くださっていると思いますが、剥き出しの個人の書類を保護者が配ったり違うものが手元に来たりしたことがあり少し気になりました。</li> </ul>	<p>○個人情報の取り扱いについては、入園時にご説明し、同意していただいております。</p> <p>○個人情報の取扱いに不備があり、申し訳ありませんでした。今後、同様のことが生じないように、職員間で共通認識を図りました。子どもや保護者の方の安心につながるよう、研修等も含めて、職員の質の向上に努めます。</p> <p>○お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとりながら保護者支援をしていくことに努めたいと思います。</p>
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	49	11	1	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症についてはお知らせいただいております。</li> <li>・毎年、避難訓練はされていると思うが、まだ今年は受けていない。</li> <li>・防犯面に関してはまだないのでマニュアルがあると嬉しい。</li> </ul>	<p>○防災対策は、毎月の避難訓練と建物の安全管理（火災報知機の点検、消火器の設置、危険個所の把握と対応など）に努めています。避難訓練については、毎日通園でない子どもが多いため、すべての子どもに経験できるように計画をたてて実施していますが、天候によって実施できなかった時の対応等については検討していきます。</p> <p>○地震や津波、防犯については、職員は訓練していますが、今後、園児や保護者の方も含めた、訓練を実施していけるよう計画していきます。</p> <p>○コロナウイルスは5類に移行していますが、今後もその時々々の感染状況や、国および広島県、福山市等の方針を参考にしながら、感染対策を決めていきます。感染が拡大する状況となった時には、速やかに基本的なルールを作成し、定期的に見直ししながら更新し、皆様にお伝えします。</p>
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	52	9	3	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練はできていませんが、こういうときはこうしますと話してくださいました。</li> <li>・避難訓練は雨でたびたび中止になっていると思います。</li> <li>・週1回の利用の中では取り組みはありませんでした。</li> <li>・非常災害の内容が火事しか訓練したことがないので、地震や洪水、変質者が出た時に備える訓練などもあるといいなと思いました（見通しの為に取って火事のみになっているのかも知れませんが）。</li> </ul>	
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	82	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しく通わせてもらっています。</li> <li>・毎日、今日はおばと園？と通園を楽しみにしている。</li> <li>・グループのお友だちの中でも居心地がいいようです。</li> <li>・毎週とても楽しみにしており、通所をきっかけに曜日を覚えてました。</li> <li>・毎回楽しみにしていて、有給休暇をとってでも行ってます。</li> <li>・親子で安心して通えるのは先生方のおかげです。いつもありがとうございます。</li> </ul>	
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	67	12	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝しかありません。ありがとうございます。</li> <li>・いつも先生方に助けられている毎日です。</li> <li>・園長先生はじめ、全ての職員が優しく気遣ってくださるので、その優しさが子どもにも伝わり育っている。</li> <li>・各イベントの際にはいつも子ども達が楽しめるように準備をして頂き感謝しています。</li> <li>・これから就学に向けての活動なども増えてくるといいなと思います。</li> <li>・子どもの言動から親が学び気付かされる事も多い。</li> <li>・親同士の話し合いはいらなからしっかり遊ばせてやって欲しい</li> <li>・先生方や活動には感謝していますが、成長に繋がる実感があり無く不安が大きいです。</li> </ul>	<p>○子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえよう、引き続き努力していきます。</p> <p>○療育のあり方や子どもの成長について、不安を感じられる時には、担当あるいは担当以外の職員にも率直にお伝えください。よりよい方向で、保護者の方と共に取り組んでいくことができるように努めていきます。</p>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により

事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。